
ロングバレル・メランコリックガール

自殺肢体

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ロングバレル・メランコリックガール

【Nコード】

N4340F

【作者名】

自殺肢体

【あらすじ】

アリシャ・ブライトリング、十六歳。大した喜びもなく、惰性で狩りを続けているような日々。どんなストーリーにするか全然考えとらん。期待するな！

1、美少女の思っていること

モンスターハンターとは、なんと気楽な稼業なのだろう。

私は、ハンターになってまもなく一年経とうとしている、ライトボウガン専門のガンナーなんだけど、モンスターどもからは数回ていど、それもごく軽い攻撃しか食らったことがない。

なぜか？

それは、仲間の男たち二人が身を挺して守ってくれるからだ。

私は、（自意識過剰でもなんでもなく）いわゆる『美少女』に類する容姿をしている。

そして、十六歳のわりには華奢な体つきを利用して、僥けで、ワイバーンに一撃でも喰らえば崩れ落ちそうな、だがしかし心の芯は強く、多少のことには物怖じしない、というキャラクターを『演技』しているのだ。

仲間たちは、私、アリシャ・ブライトリングが演じている、前述のようなキャラクターの存在を疑うそぶりすら見せない。

本当の私は……まあ、ここで言うことでもないか。

『ジョン』、『アリスティア』という名の仲間二人は、そんな私と一緒に狩りをし、守り、援護されることに青春を見い出しているのだろう。

なんたつて、二人とも十代後半という、性欲が原動力の大半を占めているような、どこにでも居る少年たちなのだから。

しかし、私はこの二人に対して恋愛感情は抱いていない。

それぞれ、それなりに精悍で、それなりに年相応で、それなりに実力はあるのだが、ビクンとくるものがない。

子宮に『ビクン！』とくるようなものを一切感じないのだ。

まあ、私を守ってくれるお礼として、どちらともにも一回ずつ体を許したことはあるんだけど……。 (ジョンもアリステアも、互いに『俺だけがこの娘とやったんだぜ』的なそぶりを見せようとするのには失笑してしまいそうになる)

そういうこともあって、彼らは最近は特に、私を傷つけさせまいと必死だ。

そろそろもう一回ぐらいヤラせて貰えるかも、と思っているのが分かりすぎて、なんだか冷めてしまう。

……別のハンターと組むべきだろうか。今度は、もう一人、私ぐらいの女の子を加えた四人パーティで。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4340f/>

ロングバレル・メランコリックガール

2010年10月21日22時02分発行